

四三四七番

家いへにして 恋こひつつあらずは 汝なが佩はける 大た刀ち
になりても 斎いはひてしかも

四三四八番

たらちねの 母ははを別わかれて まこと我われ 旅たびの仮かり廬ほに
安やすく寝ねむかも

四三四九番

百もも隈くまの 道みちは来きにしを また更さらに 八やそ十しま島ます過ぎぎて
別わかれか行ゆかむ